



かけはし

～ この夏の思い出！汗・涙・友 ～

★ 前期稽古納め ★



今回のかけはしは、夏の大会・行事報告として掲載させて頂きました。

◎7月11日に前期稽古納めが行われ、全クラス合同で早朝5時半から7時まで厳しくも気合の入った稽古が実施されました。その後、一般部・後援会保護者・少年部が猛暑の中、2時間あまり感謝の気持ちを込めての大掃除を実施し、道場が綺麗になると同時に自分の心も磨く、有意義な大掃除となりました。掃除終了後には、OB門下生が中心となって楽しく大風食会、焼肉・焼きそば、門下生はお腹いっぱい食べる事ができ、その後、道場でレクリエーションも行い和気藹藹と心温まる前期の稽古納めとなりました。これも参加頂きました先生方は勿論の事、OB門下生が念入りな準備を重ねて頂いたお蔭です。皆様ありがとうございました。

◎7月22日に開催された埼玉県中学校剣道大会兼全国・関東大会予選では見事、男子団体が2年連続6回目の優勝、全国・関東大会出場の切符を手に入れました。更に翌日の個人戦でも中学3年の新井雄大君が見事優勝し団体・個人共に全国大会出場を決めました。

◎7月28日・29日・30日に全国道場少年剣道大会が開催され、本年は第50回の記念大会であり3日間に亘り実施されました。

初日は小学生団体が行われ、厳しい埼玉県予選を勝ち抜き錬心館は2チームが出場、日本一を目指し試合に挑みましたが残念ながら北本チームが2回戦敗退、解脱チームも健闘むなしく僅差で敗退し試合場の3位、小学生にとってはとても悔しい夏の全国大会となりました。

2日目は第50回を記念し各部門の個人戦が行われ、中学生男子の部で3年生の新井雄大君が各都道府県代表約450名の選手が集う中、奮起し見事敢闘賞・全国ベスト8に入賞しました。

最終日は中学生団体が行われ、個人戦入賞の勢いそのまま、攻めの剣道を貫き一戦一戦大切に試合をしました。試合場決勝まで勝ち進み、一進一退の手に汗握る攻防戦を大将戦で勝利しベスト16入り、続いてベスト8を賭けての試合では全国屈指の福岡県・如水館との対戦となりました。中学3年生にとっては、道場日本一を決める最後の全国大会、一人ひとりが気迫のこもった素晴らしい試合を展開しましたが惜しくも力及ばず敗退してしまいました。結果は全国ベスト16、大目標の日本一には届きませんが結果だけが全てではなく門下生諸君が毎日、日本一を目指し努力してきた事が何よりも大切な事であり、決してこれが終わりではない、今まで以上に素直に学び、今回の結果を活かして小中学生共に今後益々の努力精進を期待しています。(詳細、写真は中ページ掲載)

★ 全国中学校剣道大会予選 ★

中学生門下生が見事、2年連続6回目の優勝！全国・関東大会出場を決めました！



男子団体・優勝 北本市立北本中学校
3年・鈴木・新井・若松・林・小林・2年・栗原・鈴木

行事予定



《9月》

○ 館の行事

※稽古休み 22日(火) 23日(水) ※祝日の為

○ 大会・審査会

- 3日 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
- 13日 剣道指導者講習会(一般・大宮)
- 20日 第10回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(中学代表・大阪)
- 21日 武蔵野旗剣道大会(中学代表・上尾)
- 27日 六・七段受審者講習会(一般・大宮)

○ 受入行事

- 6日 みどり祭り ※雨天時のみ(解脱会)

《10月》

○ 館の行事

- 31日 第43回解脱選抜少年剣道錬成大会(主催大会)
※稽古休み・7日(水)~10日(土) 大祭の為
30日(金) 主催大会前日準備の為

○ 大会・審査会

- 1日 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
- 3日~5日 第70回国民体育大会(和歌山)
- 11日 四地区講習会(一般・上尾)
- 11日 第33回全国道場対抗剣道大会(小中・一般代表・小山)
- 11日 全国道場少年剣道選手権大会(小中代表・小山)
- 18日 段位審査会(初段~三段・大宮)
- 18日 愛知県道場連盟・近藤杯剣道大会(小中代表・愛知)
- 25日 第43回総和剣道大会(小中代表・古河)

○ 受入行事

- 10日・11日 第167回秋季大祭(解脱会)

《11月》 ※11月15日までの予定

○ 館の行事

- 8日 北本産業祭演武(木刀教室・北本中)
- 15日 剣道体験教室・10時~11時(錬心館)
※稽古休み・3日(火) 祝日の為

○ 大会・審査会

- 1日 第13回埼玉県剣道大会・小学生の部(小学代表・上尾)
- 1日 練兵館創立40周年記念国際親善剣道大会(中学代表・小山)
- 3日 第63回全日本剣道選手権大会(日本武道館)
- 5日 埼玉連月例稽古会(上尾)
- 12日・13日 平成27年度中学校剣道新人大会(団体、個人・上尾)
- 14日・15日 七段、六段審査会(名古屋)
- 15日 第13回桶川べに花杯剣道大会(小中代表・桶川)



★ 全国大会 ★

◎全日本少年少女武道大会（東京都）

小学団体 解脱A **優良賞**
池田・高野・濟藤・柳・関根

解脱B
小嶋・友清・荒井・大野・岡部

北本
関根・内村・日置・千木良・及川・久保田



全日本少年少女武道大会 優良賞（3チーム出場）

◎全国道場少年剣道大会（東京都）

小学団体 解脱 **試合場3位**
池田・高野・濟藤・柳・関根

小学団体 北本
関根・内村・小嶋・友清・荒井・大野・岡部

中学団体 解脱 **会場1位**
全国ベスト16
鈴木・新井・若松・林・小林・栗原・鈴木

中学男子個人
敢闘賞 全国ベスト8
新井雄大（中3）



全国道場少年剣道大会 試合場 3位（2チーム出場）

◎全国中学校剣道大会（秋田県）

男子団体・北本中
鈴木・新井・若松・林・小林（中3）
栗原・鈴木（中2）

男子個人 新井雄大（中3）



全国道場少年剣道大会 ベスト16・試合場 1位



富山県ジュニア選手団来館 ★



富山県剣道道場連盟より依頼があり富山県ジュニア剣道強化の講師、並びに受け入れ団体として田中宏明館長、解脱錬心館が推挙され、富山県ジュニア強化選手合宿事業を受け入れ、今回で4回目、8月18日～19日に富山県ジュニア選手団が来館され、初日は錬心館門下生と合同稽古をし、最終日は埼玉県道場連盟選抜選手にも参加頂き、試合稽古を行い充実した2日間となりました。



～お知らせ～

第65回 日光剣道大会 **優勝**



この度、錬心館専従指導者の
小林竜也先生が埼玉県剣道連盟
から推挙され第65回日光剣道
大会に出場し**見事優勝**いたしま
した。

おめでとうございます！

☆昇段おめでとうございます-----

- 四段 大塚 則夫 (一般)
—平成27年7月19日取得—
- 三段 栗原 裕明 (一般)
- 二段 新井雄大・小林紀洋・鈴木悠誠
林 泰輝・若松将輝・千木良虎汰朗
安達朋美・千葉彩華 (中三)
- 初段 細谷 周 (中三)
荒井大成・金子琉馬・栗原千裕
鈴木秀海・鈴木陽太・松尾一輝
井上涼未・小嶋紅音・谷口美月
若松由希乃 (中二)
—平成27年6月14日取得—

☆入門おめでとうございます-----

- | | | | | |
|----|-----------|--------|-----------|-----|
| 一般 | なわの 縄野 邦雄 | くにお 一般 | ねぎし 根岸 保子 | やすこ |
| 小4 | ひおき 日置 優里 | ゆり | ぬまた 沼田 大地 | だいち |
| 小1 | ひおき 日置 大雅 | たいが | | |

☆大会通信

6月

★竹紫館剣道大会

低学年の部 **第3位** 内村・田中・関根

★第60回知事杯争奪近県剣道大会



女子団体 **優勝** 大泉・若松・谷口・安達・小嶋
男子団体 **準優勝** 栗原・若松・鈴木・林・新井
小学混成 **第3位** 関根・池田・柳・濟藤・関根

7月

★第22回青雲塾剣誠会館長杯争奪少年剣道大会

小6男子個人 **優勝** 関根悠成
小2女子個人 **準優勝** 柳 瑠里
小5女子個人 **敢闘賞** 柳菜々海

8月

★関東中学校剣道大会

男子団体 北本中 **敢闘賞 (ベスト8)**
3年 鈴木・新井・若松・林・小林
2年 栗原・鈴木
個人 新井雄大 (中3)

編集後記

錬心館も後期に入り、まだまだ残暑も厳しいですが道場には再び子供達の元気な掛け声が戻って来ました。

さて、日本武道館で開催されました夏の全国大会では、大目標の日本一には届きませんでした。子供達は、剣道の「朝鍛夕錬」の教えを守り努力を重ねてきたと思います。やはり結果が全てではなく夢に向う努力と反省が大切！頑張り門下生！ (Y)

けん 剣の 敵 え 92

われいがいみなしなり
～ 我以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

伝統を繋ぐ夏

◆早いもので彼岸月の9月を迎えた。秋雨前線の影響でスッキリとしない毎日が続いているが、門下生諸君には夏休みも終わり、気持ちも新たに稔りの秋に向けて確かな歩みを進めていることと拝察するものである。◆どんなに科学や技術が進んでも、一年は春夏秋冬四季があり、一日は朝、昼、夜の24時間と永久に変わることない大自然の大きな大きな運行の中で私達は生かされて生きている。そう思う時、常に自分の損得しか考えないような自分本位の生き方では余りにも寂しいと言わざるを得ない。現在、解脱会では様々な活動の一つとして岡野英夫理事長のご指導により「副食を献ずる運動」が全国会員を挙げて展開されている。これは、昨年の主催大会の大会会長のご挨拶でも話をされた世界の子供達の余りにも悲惨な状況(昨年度の国連の「人間開発報告書」によると保健・教育・生活水準のうち、二つ以上欠乏を抱えた人々「多次元貧困人口」や、それに近い状態で暮らしている人々は世界の約33%と実に22億人に達し、更に毎日18,000人も5歳未満の子供達が命を失っている等)の中、日本に暮らす私達は様々な困難を抱えてはいるが、世界の現状からすれば非常に恵まれた生活をしている。そんな私達に、何か出来ることはないか?ということから月に1回でもいいから副食を減らし、飢えや病に苦しむ人々に思いを馳せながら、減らした副食にかかるはずの食費を積み立てて特定の団体を通じて献金をさせてもらうという運動である。一人一人にとっては小さな試みではあるが多くの人が参加でき、常に心を寄せて長くさせて頂くようにとの配慮もなされてもいる。「点滴石を穿つー雨垂れのような小さな水滴でも長い間同じ所に落ち続ければついには固い石をも溶かすー」の諺の如く、小さな努力でも根気よく続けていけば大きな成果を上げることができる。私達が学ぶ剣の道も同じで毎日毎日の地道な稽古の積み重ねが、やがて大きな花を咲かせる。それは優勝や昇段という結果だけではなく、社会や他人に必要とされる人間となる、喜ばれる人間になるという剣道本来の目的に沿うものでもある。◆今夏も、全国大会に挑戦する後輩門下生の為に多くのOB・OGの先輩諸君が時間を割いて稽古に来てくれた。当時の自分と重ね合わせているのか、後輩達に何かを伝えようと一生懸命に指導している姿が印象的であった。これが伝統というものか。先輩達が切り開いてきたこの道を、後輩達はその背中を追いかけ、そして追い越そうと自らを極限まで鍛えあげる。猛暑の道場に、一瞬爽やかな風が流れたように感じた…。伝統が又一つ積み重ねられた夏。